

浪江町／二本松永田ヨーガ療法ボランティア活動報告

- 1、日 時 2012年5月26日(土) 午後1時30分～
- 2、場 所 二本松市永田農村広場仮設住宅
- 3、実 施 者 今村幸子 高萩八重子
- 4、参 加 者 ヨーガ実施者 0名 傾聴者 数名
- 5、状況 報告

- ① 仮設住宅の自治会長さんにごあいさつに伺う。
- ② 入居者の多くは、高齢者である。
- ③ 自然環境には恵まれているが、生活の利便性は恵まれているとは言い難いためか、空き家が多かった。生活環境の向上改善策として週2回、お買い物バスが運行されている。

6、傾聴報告

- ① 集会所にヨーガの日程表は掲示されていたものの、コンサルティングをなさる方が交代されたばかりで住民に十分伝達されていなかったのが判った。会長さんに住民宅へお誘いの声掛けをお許しを頂いたので、声掛けを行った。
- ② 各戸訪問をさせていただいたが、在宅者はあまりおいでにならなかった。おいでになっても、応対をなさらないお宅もあった。途中であった方はとても感じよくお話をされ、様々な思いをお話くださった。
- ③ 自治会長さんも気にかけてくださり、定刻には集会所にお運びくださった。ペットと暮らせるようになったことに対しての、安どの顔が印象的だった。大きな犬だが、会長さん同様穏やかな顔をしていた。しかし、お宅は、飼っていた乳牛が自宅に入り込みメチャメチャになっていると寂しそうであった。
- ④ 集会所の窓から覗いている男性に気が付き声をかけた。この方は、自分の思いをたくさんお話くださった。自分の家は浪江の賑やかな所にあっただが、突然避難を指示され現在は家族5人が県内外にばらばらに暮らしていること、ご夫婦の出身地や出身校、お子さんの状況を細やかにお話くださった。印象的だったのは、家族が集う場所が特定できず「子供さんが、ただいまと言えるのはどこなんだろう」といったことが心にかかっておられるようであった。明日、ご夫婦で一時帰宅をすると数回お話くださった。
- ⑤ 元気な、女性がおいでになった。奥様と紹介くださった。奥様も浪江の思い出話をひとしきりされた。

今日であった方は、まだ、心が落ち着いておらず自分の思いを伝えるのが精いっぱいの方たちだったような気がした。